

デジタルコンテンツ & ドキュメント管理ソリューション

# OpenText™ Content Suite

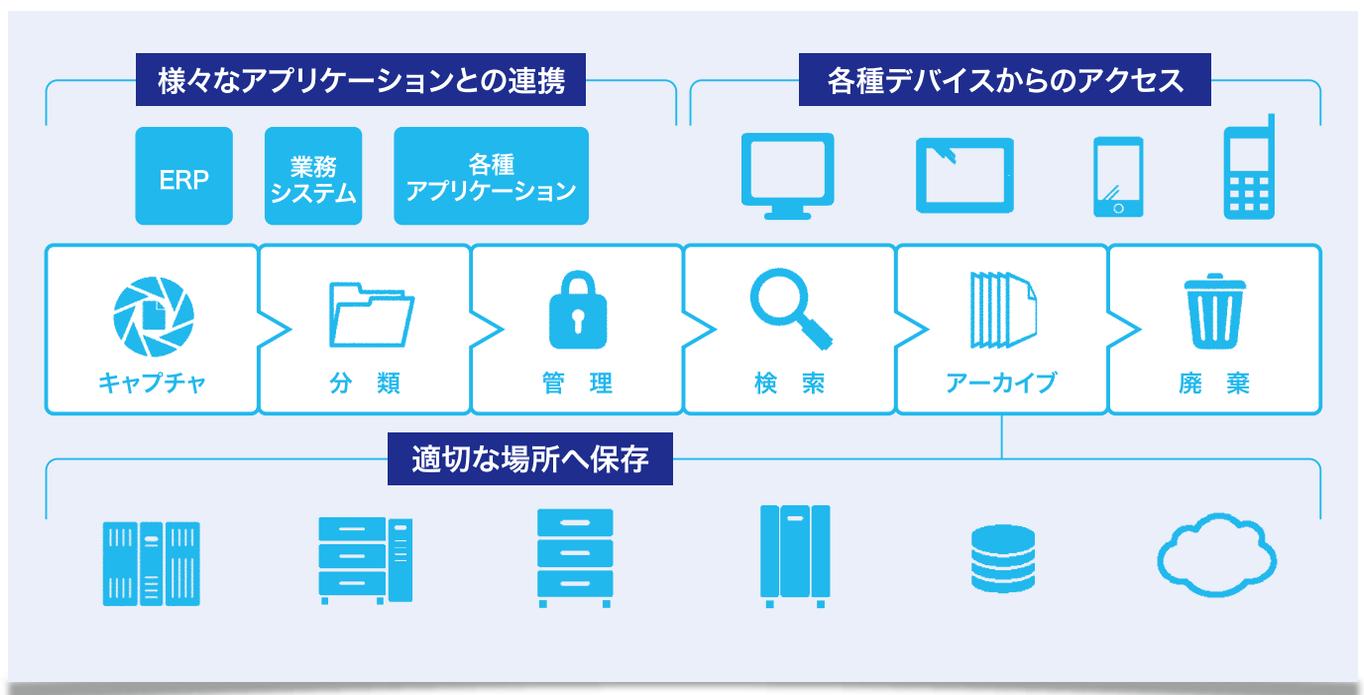


デジタルコンテンツ&amp;ドキュメント管理ソリューション

# OpenText™ Content Suite

多様な形式の文書やコンテンツを統制管理し、  
個人とチームの生産性を向上

OpenText™ Content Suiteは、エンタープライズ環境に適した高度なレコード管理を可能にしなが、文書やコンテンツなど企業内にある様々な情報を収集し、ポリシーに応じて自動分類しながらあらゆる環境から柔軟にアクセス、情報の活用を支援する強力な情報ライフサイクル管理を可能にします。



**Point 1** 直感的で使いやすいインターフェースと適切なアクセス管理を提供

**Point 3** 情報の一元管理で無駄を排除、個人とチームの生産性を向上

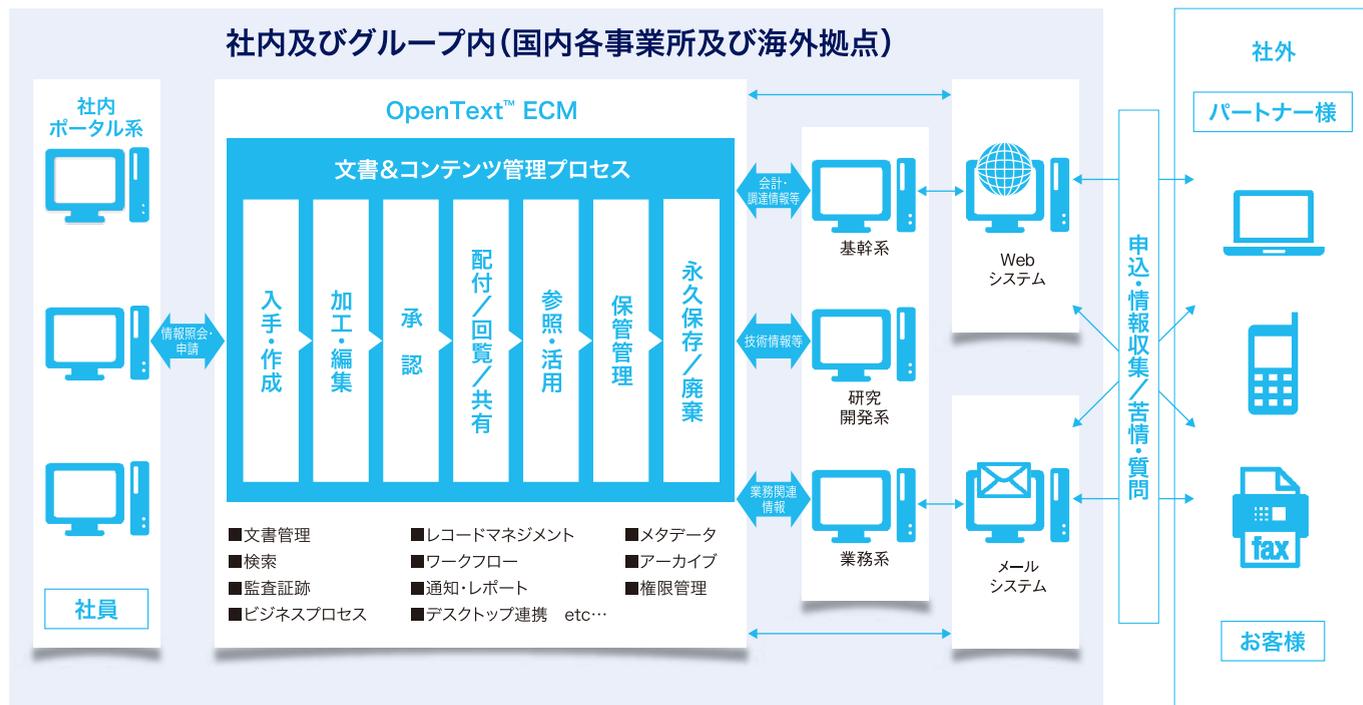
**Point 2** コンプライアンスやリスク対策を支援する情報統制を実現

**Point 4** 拡張性の高い統合コンテンツ管理基盤

情報のデジタル化が加速する今、企業内のコンテンツや文書は各種サーバーやPC、モバイルデバイス、そしてクラウド上に散在しています。必要なときに適切な情報を利用するためには、情報を集約し、ビジネスシーンに応じてアクセス・検索できなければなりません。

OpenText™ Content Suiteは文書やコンテンツの作成から管理活用、長期保管までの一連のライフサイクルをセキュアに管理・共有できる業界屈指のエンタープライズコンテンツ管理(ECM)ソリューションです。さまざまな環境に適した直感的なインターフェースと、あらゆる証跡を記録する高度なレコード管理と監査機能を備えています。

## 業務プロセスとECM連携



## 特長

### ● 直感的で使いやすいインターフェースと適切なアクセス管理を提供

個人ごとに必要な機能を素早く呼び出せる「Smart UI」により、ユーザーに使いやすいポータル画面を表示します。HTML5によるリッチなインターフェースに加え、タイムラインから情報登録やアクセスが行えるソーシャル機能を強化。同時にロールベースの権限管理で表示内容を制御して高度なガバナンスを提供します。

### ● コンプライアンスやリスク対策を支援する情報統制を実現

文書やコンテンツなど情報のアクセスを確実に記録し、トレーサビリティを確保。ファイルやコンテンツ単位の権限設定で情報漏えい等のセキュリティ対策にも寄与。組織のポリシーに応じた情報収集・分類により、コンプライアンスやリスク対策を支援します。

### ● 情報の一元管理で無駄を排除、個人とチームの生産性を向上

メールやWebブラウザ、エクスプローラ、ソーシャル、モバイルなど様々なインターフェースから一元管理された情報にアクセスし、あらゆる世代に適した形でコンテンツの共同作業が可能です。無駄な重複作業を排除し、作業の生産性向上に寄与します。

### ● 拡張性の高い統合コンテンツ管理基盤

ERPや業務システム、特定のアプリケーションなど、外部の各種システムと柔軟に連携可能なSDKを提供。あらゆるシステムにシームレスにアクセスできる、拡張性の高い情報基盤を整備することができます。

## 主な機能

### 文書管理

文書の発生から廃棄まで、情報ライフサイクル管理の基本となる文書管理機能です。Webブラウザはもちろん、Office 365との連携、Windows ExplorerやOutlookなどのメールやタイムライン機能を提供するソーシャルなど、使い慣れたインターフェースから文書登録が可能です。既存文書の一括登録や新規文書の作成が可能な文書登録機能をはじめ、自動的に排他制御を行うバージョン管理やユーザー定義の属性情報管理、文書間の関係を保持する関連文書管理、複数ファイルを一括管理する複合文書管理機能など、文書を管理するために役立つ各種機能が備わっています。また、自社で設定したポリシーに沿って文書の自動分類が可能となり、文書登録時に発生する利用者の負担を大幅に軽減します。

### 全文検索

アクセス権限に配慮しながら迅速な検索が可能だけでなく、素早く検索結果が確認できるようファイルを開かずに内容チェックが可能な仕組みを実装しています。検索ワードをハイライト表示することで必要な文書を見つけ出す全文検索では、システム及びユーザー属性も検索対象に含めることが可能です。文書の持つ属性情報をもとに、フォルダ間を横断的に串刺し検索する機能も備わっています。よく利用する検索画面はテンプレート化することが可能となっており、検索業務の効率化に貢献します。

### レコード管理とアーカイブ

重複文書を1つのファイルとして管理でき、期間や属性を条件に安価なストレージに移動したり文書を廃棄したりするなど、情報のライフサイクルを自動的に管理しながら、文書の使用頻度や重要度に応じたストレージ間の移動を可能にする機能が備わっています。紙やDVD、箱など物理的なオブジェクトの管理機能も備え、デジタルとアナログを一括管理する基盤としても活用できます。

### ワークフロー&フォーム

文書を利用した申請承認業務などに必要なワークフロー機能を提供します。ドラッグ&ドロップによってワークフローが容易に設定でき、高度な条件分岐やユーザー割り当てを実現。HTMLベースのフォームを活用することで、業務の内容に応じた柔軟な申請、稟議、決裁など各種フローを構築することができます。メール内に承認や却下ボタンを設定するなど、日常的に利用しているメールを利用しての承認作業も可能となっており、承認処理の大幅な業務効率向上にもつながります。



インターフェース イメージ

### テンプレートワークスペース

テンプレートワークスペースによって、ビジネス文書のアクティビティ管理を行うワークスペーステンプレートの設計と作成を行うことができ、業務に関連する情報の表示や標準化を可能にするだけでなく、ユーザーの操作性を簡素化するフレームワークを使って、文書の編集や検索などの効率化を図ることができます。ユーザー定義が可能な属性情報、ドキュメントフォルダ構造、ワークフロー、役割、期限管理、通知などの機能を予め再利用可能なワークスペーステンプレートとして定義しておくことが可能です。

### 紙の電子化

各種複合機のスキャンに対応しており、電子化されたファイルを取り込むことで紙書類の電子化を強力に支援します。バーコードを利用することでスキャンした文書の登録業務を効率化、ポリシーに則った自動分類などの機能によって、大量の紙文書をOCR(文字認識)により、検索可能なPDF文書へデジタル化することが可能です。デジタル化に向けた企業変革を大きく前進させることができます。

### セキュリティ設定

フォルダや文書単位で詳細な権限設定を行うことができます。更新や削除、参照など9段階での権限設定を、ユーザーやグループに対して付与することが可能です。標準的な権限管理だけでなく、ダウンロードや印刷制限、動的透かしによるカメラ撮影やスクリーンショットの防止など、豊富な拡張セキュリティ機能もオプションとして利用できます。

## 適用例

### 情報共有基盤の刷新・統合

ファイルサーバーやグループウェア、部門毎の文書管理システムでバラバラに管理されている文書や情報を集約し、最適な共通基盤へ。システム運用コストを低減し、情報検索の向上と情報の一元化が実現されます。

### 設備保全・品質管理に関する文書・記録管理

図面やマニュアル、故障記録、交換対応履歴、検査結果などの膨大な文書類を徹底管理し、確実な記録で証明力を担保して企業のリスク管理にも備えると共に、類似案件の検索やモバイル活用で現場での迅速な対応力を向上させます。

### 顧客、ベンダー、協力会社との得意先／仕入先ポータル

各取引先、仕入先ごとに契約書、注文書、請求書を含む取引・製品情報に関わる文書を一元管理し、営業や購買、法務部門など社内関係者の作業を飛躍的に効率化。取引先・仕入先との請求書、見積依頼等のプロセスの迅速化を図ります。

### 設計・開発・技術関連情報の共有

設計・開発段階における情報を確実に蓄積し、開発現場でのコラボレーションやナレッジ共有を促進します。重要な技術文書には詳細な権限設定により参照と検索を制限。適切な形で技術継承が行えます。

### 紙文書とデジタルの融合～証憑電子化、契約書管理等での活用

請求書や契約書など、社外から発生した紙文書を電子化し、属性情報と紐付けて確実に管理・保管します。紙が正の場合でも物理レコードとして所在管理が可能。業務システムと連携することで、業務の合理化や内部統制に効果を発揮します。

※上記は活用の一例です。各種業務プロセスと連動した活用実績がございますので、詳細はお問い合わせください。

## オプション

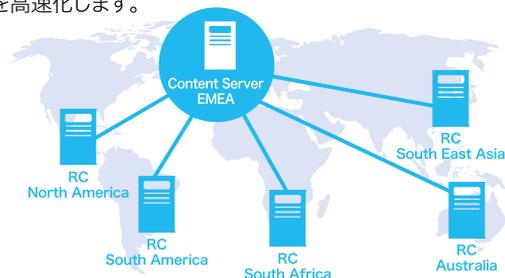
### OpenText™ Brava!

OpenText Content Suiteの拡張セキュリティ機能として、様々な文書フォーマットの表示可能なビューアとしてだけではなく、ダウンロードや印刷の制限や、画面ショットやカメラ撮影をけん制する動的な電子透かしなどにより、文書ファイルの情報漏えいや再流用を防止します。他にも複数文書の比較や結合などの便利な機能が利用できます。



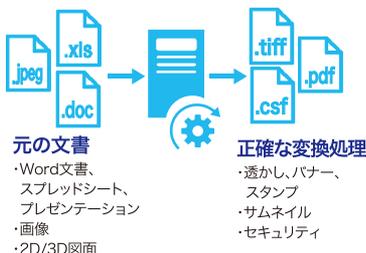
### OpenText™ Remote Cache

海外など通信回線に問題があるリモートユーザーの作業パフォーマンスを向上します。リモートサイトはプライマリーサイトから離れた場所にインストールされ、ローカルにセキュアな状態でキャッシュされることで、文書へのアクセスを高速化します。



### OpenText™ Blazon!

文書変換にかかる面倒で時間のかかる手作業を自動化し、文書変換コストの削減、コンプライアンスやセキュリティの強化、文書へのアクセス向上を実現。複数文書の一括変換や連結、ワークフローとの連動など高度な変換機能を提供します。



### 外部システム連携

SAPやMicrosoft SharePointなど外部システムとの連携機能を提供。外部にあるコンテンツもOpenText Content Suiteの統合管理基盤で円滑に管理することができます。SDKにより市販のアプリケーションからスクラッチ開発された業務アプリケーションまで、外部システムとの柔軟な連携を実現します。

### OpenText™ Content Server Mobile

OpenText Content Server Mobileにより、セキュアにモバイルデバイスからのContent Serverへのアクセスを可能にし、iOSおよびAndroidのスマートフォンユーザーは、いつでもどこでも文書コンテンツの利用ができます。



### 豊富な拡張オプション機能

- OpenText™ Content Intelligence: レポート生成ソリューション
- OpenText™ Content Electronic Signature: 電子署名ソリューション
- OpenText™ Content Email Management: 電子メールのアーカイブソリューション
- OpenText™ Content Extended Workflow: ワークフローの機能拡張オプション
- OpenText™ Content Object Importer: 文書コンテンツのバッチ登録ソリューション
- OpenText™ Content Shinydrive: データインテグリティソリューション
- OpenText™ Content Tempo: 企業向けファイル同期&共有オプション

※このほか、OpenText Content Suiteの機能を拡張する便利な各種オプション製品をご用意しております。

## オープンテキスト株式会社

お問い合わせ先

東京 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-8-3 丸の内トラストタワー本館18F

TEL: 03-4560-7704 FAX: 03-4560-7899

大阪 〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田2-2-2 ヒルトンプラザウエストオフィスタワー19F

TEL: 06-6133-4672 FAX: 06-6133-4677

http://www.opentext.co.jp Email: sales-jp@opentext.com